

2019年10月9日

## ESG アナリストが企業の ESG 担当者向けに講演を行いました

9月20日、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）のESG分科会において、当社のチーフESGアナリストの櫻本恵（さくらもと めぐみ）が講演を行いました。会場にはGCNJ参加企業から約130名のESG担当者やIR担当者などが集い、櫻本のプレゼンテーションに耳を傾けたのち、質疑応答のセッションが持たれ、多くの皆様から制限時間いっぱい、たくさんのご質問を頂戴しました。

GCNJは、国連事務総長室の傘下にある国連グローバル・コンパクト（UNGC）の活動を行う各国に置かれた組織のひとつです。UNGCは、1999年の世界経済フォーラム（ダボス会議）でアナン国連事務総長（当時）が提唱した4分野（人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止）に関わる10の原則に則った取り組みで、賛同する企業がその実現に向けて努力しています。GCNJは2003年12月に発足、340の企業・団体が加盟し、CSRとビジネスに関する情報交換や勉強会の場として活動しています。<sup>1</sup>

講演では、企業統治から研究開発、製造、営業まで企業活動の随所にESG課題があること、インベストメントチェーンにおける企業には二つの側面があり、上場している場合には投資対象として、また企業年金基金を持つ場合にはアセットオーナーとしての立場があることなどについてお話ししました。また、具体的な投資先企業のESG評価方法をはじめ、エンゲージメントの良い例悪い例についても紹介しながら講演しました。後半の質疑応答の時間には次々と質問を頂き、参加企業の皆様がESGに真剣に取り組まれている様子が伝わってきました。

当社のESGアナリストは、中長期的な投資先企業の価値向上と市場全体の底上げを目指し、産業界のESG取り組みの進化に貢献できるよう講演活動を行っています。

以上

1. 2019年9月26日時点。含む、学校法人、NPO、NGO。

### 【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約52兆円と国内有数の規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。HP：<http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2019年3月末時点。